

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 25 号
R7. 6. 5
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 7年 6月「月報」

1 はじめに

5月14日、愛知県の小牧基地を離陸した航空自衛隊のT4練習機が愛知県犬山市の「入鹿池」に墜落し、搭乗員お二方の死亡が確認されました。

謹んでご冥福を祈るとともに、お悔やみ申し上げ、ご遺族のご安寧をお祈り申し上げます。

さて、5月21日に防衛所設置法の一部を改正する法律案が参議院で可決されました。

この法律で、自衛官定数の変更や陸海空自衛隊の組織改編がなされるほか、人的基盤の抜本的強化のため設置された「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」で決定した「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」に基づく改正内容が盛り込まれています。

具体的には、手当の新設・引上げ等、自衛官候補生の廃止及び予備自衛官事業継続給付金の新設等が挙げられます。

入隊後の勤務で全額返還免除となる奨学金、転勤で長距離移動した場合に異動日から3年間支給される手当等、自衛官の処遇を改善して厳しい募集環境下に人的戦闘力を充実しようというものです。詳しいことは6月18日に実施される募集協力者会同の席上防衛省から説明があると思いますので、その内容を今後の募集協力活動に生かしたいものです。※自衛官候補生が廃止されることとなりました。「候補生」であることから、給与が抑えられており、また、「候補生」という身分の理解を得ることも含めて募集の際に苦労があり、その実情を各県家族会長が防衛省に訴えたのは今年の募集協力者会同の席でした。「家族会の力」とまでは申しませんが、施策を講ずる一助となったと理解しています。引き続き、隊員のため、隊員の家族のために活動して参りましょう。

2 防衛省・自衛隊の活動（防衛省 Web、X 等より）

- (1) 防衛省は、5月21～23日の間千葉市の幕張メッセで開かれた防衛装備や兵器の見本市である「DSEI JAPAN」を後援しました。この見本市は、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画に沿って開催されるもので、わが国の安全保障に対する姿勢やその能力、技術力を世界に示す場であり、同盟国や同志国との防衛装備協力の推進により、わが国や地域の安定に貢献するものと言えます。

防衛装備庁が「レールガン」の模型、や「12式地对艦誘導弾の能力向上型」の模型、小型無人機（ドローン）に対処する高出力レーザー実証装置を搭載した試作車等を展示しました。

21日には中谷防衛大臣、22日には石破内閣総理大臣が講演を行い、防衛装備の移転を進めてゆく考えを示し、それが自国だけでなく同盟国、同志国の抑止力を強化する取り組みになると述べました。

- (2) 航空自衛隊は、4月28日から5月9日までの間、米国カリフォルニア州に所在するヴァンデンバーグ宇宙軍基地において、31の国及び組織が参加する米宇宙コマンド主催の宇宙状況把握多国間演習「グローバル・センチネル (Global Sentinel) 2025」に参加しました。



本演習の参加を通じ、宇宙状況把握 (SSA : Space Situational Awareness) に係る訓練及び意見交換を実施し、宇宙空間の安定的利用に対する脅威に対応するため、多国間での宇宙状況把握に関する情報共有態勢を強化するとともに、同盟国・同志国等との相互理解を深めました。

3 家族会の活動

(1) 令和7年度第1回理事会 (書面決議) の結果

5月29日、本会は、以下の議案を第1回理事会に諮り、理事全員の同意と監事2名の異議なく、決議しました。

- ・第1号議案：令和6年度自衛隊家族会事業報告
- ・第2号議案：令和6年度自衛隊家族会収支計算書及び監査報告書
- ・第3号議案：県自衛隊家族会長人事
- ・第4号議案：地域協議会長人事

(2) 北方領土返還促進に関する要請・請願

5月12日、衆議院議員会館において、令和2年以来4年ぶりとなる北方領土返還促進に関する要請・請願を行いました。列席した議員代表として鈴木貴子衆議院議員が挨拶した後、北方領土返還要求北海道・東北国民大会大会長



(北海道知事)、北方領土返還要求運動都道府県民会議会長、北方領土返還要求署名運動推進会議代表、根室市長に続き、本会の小和瀬運営委員が、署名運動に係る自衛隊家族会の活動に触れつつ、北方領土に係る教育の重要性、国家主導の根気強い対策の必要性を訴えました。その後、沖縄及び北方対策に関する特別委員長 (逢坂誠二議員) と外務委員長 (堀内詔子議員) の挨拶を受け、請願を終えました。会員の皆様、署名して下さった皆様の思いが届くことを祈らずにはられません。

(3) 第57次派遣海賊対処航空隊を激励

5月9日、青森県家族会 野呂会長と室谷八戸市家族会長が海自八戸航空基地を訪れ、海自第2航空群所属の松本2海佐が率いる第57次派遣海賊対処航空隊を激励しました。

昨年末に派遣された第5航空群所属（第56次）の長（ちょう）2海佐と同様、指揮官の松本2海佐も2度目の派遣だそうです。度重なる海外派遣は、日ごろの訓練の成果を発揮する場とは言え、緊張高まる地域での活動、誠にご苦労様です。任務完遂・無事のご帰還を祈っております。



(4) 護衛艦あきづきの鹿児島入港を歓迎

4月26日、鹿児島港北ふ頭に護衛艦「あきづき」（艦長：長野2海佐）が入港し、「錦江湾に入港する艦船を歓迎する会」主催、鹿児島地方協力本部支援の下、防衛協力諸団体の協力で盛大に歓迎式典が行われました。

「あきづき」には鹿児島市郡山家族会の宮路会長の三男が乗り組んでおり、式典で「～歓迎する会」の諏訪会長による歓迎の挨拶の後、第5護衛隊司令（小城1海佐）、あきづき艦長への花束贈呈に次いで、鹿児島地本OB会長でもある宮路氏から息子（三男さん）へ花束が贈られ、拍手喝さいとなりました。



鹿児島地本のご配慮に感謝です。

（ちなみに、宮路会長には長男空自、次男・三男海自、四男陸自の4人のお子さんがおられます。）

(5) 掃海艇「すがしま」の阪神基地隊入港を歓迎

4月17日、すがしま型掃海艇10番艇「みやじま」が、呉地方隊阪神基地隊第42掃海隊への編成替え（3月12日）後、初めて阪神基地隊に入港しました。

当日は暑いぐらいの晴天に恵まれ、明石地区会から井口会長、西神戸地区会から佐阪会長、東神戸地区会からは古家会長以下7名、兵庫県から高木会長の計10名が歓迎行事に出席し、乗員の着任歓迎激励を行いました。



かつて「みやじま」にご息子が乗務していた（現在は別の艦艇に乗務）という東神戸地区会会員の一人は、仕事を中断して駆けつけ、「家族会に入っていたおかげで、こんな貴重な機会を得られました」と、感慨深げに艇を見上げていました。その後、阪神基地隊司令 桐生宏幸1等海佐等と貴重な意見交換を行い、隊員と家族をつなぐ温かな絆を改めて感じた一日でした。

(6) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和7年5月の「問い合わせ」件数は、各自衛隊担当者が直接対応したものは0件、事務局で対応を終了したものは12件であり、合計12件でした。

（尚、同月中に同じ相談者からのものが1件有り、それを除けば11件となります）

その中で、家族会会員からのものは5件であり、残りの7件が家族会会員以外の方からということになります。今月の分類別では、全て相談者に関するⅠ分類であり、家族会の組織に関するⅡ分類の相談は有りませんでした。

Ⅰ分類の12件の中で配偶者からのものが5件、親御さんからのものが7件（会員からの相談を受けて県会長等の役員が代わりに相談してきたものを含む。）でした。

相談内容は、自衛隊という職場に全く関係しないものが2件であり、他の10件は、自衛隊への厚生手続き上の話や官舎事情等、自衛隊に何らかの関係が有りました。

一方で、内容的に深刻であり部隊に対して更に申し入れする必要があると判断されるもの（相談者からの開示が極めて限定され、結果、不明の部分が多く家族会からの部隊への対応が不可能）、直ちに警察や関係機関に相談すべきと判断されるもの（内容が真実であれば刑事事件に相当）2件も12件の中には含まれておりました。

相談をされる側の配偶者や親御さんの状況は様々であり、当方が真摯に対応していてもその相談内容が不明の場合や「単なる話し相手を求めているのでは？」と思えるものまであります。ご子息の自慢話が主であるという結論から言えば微笑ましいものから、大人として親として合理的な行動の方向性は頭では分かっている、一步を踏み出す為の相談相手を見い出せずその役割をこの窓口が担ったかもしれないという様な意味深刻なものまでありました。

人には、その高邁さや自己分析の深さに差は有っても夫々に正義があり、その正義とぶつかると相手を攻撃してしまう性向が有ります。相談側が自分の正義の旗を掲げながら相談窓口に入るとき、それが常識的なものであれば、相談としては軽い（言葉的には不適切かもしれませんが）ものとなりますが、それが相談窓口の担当に理解不能な場合は、当該担当者が攻撃の対象となる場合もあります。その様な組織として担当者としてのリスクが存在していることを認識しつつこの事業を実施しているということは、本月報をお読みになる方々にはご理解頂きたいと思えます。

4 事務局からの連絡

(1) 令和7年度定期総会・表彰式・第2回理事会の概要

ア 時期：6月17日（火）13：30～17：00

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 総会

(ア) 議題

- ・第1号議案：令和6年度事業報告
- ・第2号議案：令和6年度収支計算書及び監査報告書

(イ) 報告

- ・報告1：令和7年度事業計画
- ・報告2：令和7年度分担金
- ・報告3：令和7年度収支予算書
- ・報告4：令和7年度資金調達及び設備投資の見込み
- ・報告5：第30回（令和6年度）「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- ・報告6：基本財産の運用
- ・報告7：「問い合わせ窓口」令和6年度を振り返って

※定期総会の委任状の締め切りは6月13日（必着）です。よろしくお願いします。

エ 表彰式

- ・団体表彰、個人表彰

オ 令和6年度第2回理事会

(ア) 議案

- ・第1号議案：県自衛隊家族会長人事
- ・第2号議案：運営委員人事

(イ) 報告

- ・代表理事及び業務執行理事の業務報告

(2) 意見交換会（17：30～19：00）

(3) 令和7年度募集協力者会同

ア 時期：6月18日（水）09：00～11：30

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 目的：内局及び各幕僚監部から隊員募集の現況や施策に係る事項の説明を受け、各県自衛隊家族会が行っている「募集協力における創意工夫等の各種施策」について相互に紹介し、今後の募集協力を資する。

エ 家族会からの参加者：各県家族会会長又は代表者及び各地域協議会地域担当運営委員ほか

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長